学習院大学新聞

発行所
学習院大学新聞社
〒171-8588 東京都豊島区目白1丁目5番1号
黎明会館316号室
電話 03(3986)0221 内線 2607

発行・編集人　日森進吾
年間500円

本学の魅力を発信
オープンキャンパス開催

過去最多の来場者数

7月30日～31日の2日間、本学にてオープンキャンパスが行われた。学内で模擬講義や説明会、キャンパスツアーなど様々なイベントが行われ、会場は多くの来場者を迎え、盛況のうちに幕を閉じた。

今夏は10538名の来場者が訪れた。これは前年度比1302名（14%）増となり、夏のオープンキャンパスとしては過去最高の来場者数を記録した。これには複数の要因が考えられる。一つは昨年度から実施している、高校の進路指導の教員を対象とした訪問活動を一層強化したことだ。そして、もう一つは今年2月に実施された一般入試志願者の大幅な増加も挙げられる。これらが継続して好意的に受け止められたことが来場者の増加に影響した。また、昨今では高校1・2年次において、オープンキャンパスへの参加を進路指導として課題にしている高校も多い。こうした高校側の変化も来場者増加の一因として挙げられる。

今回の開催において工夫している点について主催の本学学長室広報センターに話を伺った。同センターは、・十分な事前広報・来場者が満足できる仕組みづくりの2点を心掛けたと言う。事前の広報としては今年度リニューアルした受験生向けホームページ「マジマジメマガジン」の存在が大きい。同ページ内に模擬講義の詳しい内容などを紹介するページを作成することで、来場者が必要とする情報を効果的に発信した。また、来場者の満足度向上のためにも、様々な取り組みがなされた。今回は応援団による演舞公演の実施や、昨年度好評だった学生トークショーの回数増加などコンテンツが充実。また、今年は来場者全員へうちわを配布。さらに、屋内の休憩所や屋外にミストファンを設置するなど、夏の暑さ対策にも力が入れられた。同センター課長は「教職員や学生の丁寧な対応で本学の『学び』だけでなく『人』の魅力も伝えられた」と振り返る。

次回の開催に向けて「来場者が増える中で満足度を向上させることは喫緊の課題である」と課長は言う。さらに「既存コンテンツの内容の見直しや新規企画の立ち上げなど、積極的に改善を図る」と話してくれた。今年度は、多くの受験生に本学のことを知ってもらうため、例年より2回多くオープンキャンパスが実施される。

学びを推進
ラーニング・サポートセンター

今年6月、西2号館204教室に学生の学習支援を行うラーニング・サポートセンターが新たに開設された。学びやすく成長を実感できる環境の整備を目指す本センター。多様な専門分野を修学したスタッフが学生一人ひとりに対して親身に、学びを補助する。

具体的な支援内容は、履修登録前の相談から大学での学習方法、内容に関する各種相談、文献検索支援である。さらに和文だけでなく、英文を含むライティングサポート、プレゼンテーション技法等の向上も支援する。もちろん履修登録した授業科目以外の一般的な学習についての相談も受け付けており、各種講習会、勉強会等も検討されている。

平日は10時～19時、土曜日は10時から14時まで開室しており、大学での空き時間に気軽に利用出来る点が魅力だ。曜日、時間帯にもよるが、常時3～6名のスタッフが在室している。それゆえ、その場ですぐ相談するだけでなく、事前に予約することも出来る点にも注目だ。原則1コマ30分、1日2コマまで利用できる。このセンターでは、年間を通じた相談回数に制限は設けていない。そのため自律的な学習ができるまで、サポートを継続的に受けることも可能である。

職員の方々は『学び直し』から『さらなる学び』に至るまで、自主的で創造的な学習を支える場として多様なニーズに応える姿勢だ。現在の利用状況は、開設からの1ヶ月で延べ70名強とのこと。試験に向けての勉強や自習室としての利用も可能であるので、ぜひ積極的に利用したいものだ。

受験生の味方
マジマジメマガジン

本年度、学習院大学の受験生向けホームページがリニューアルオープンした。真面目の中にこそ活気があるという理念の下、「マジマジメマガジン～むしろ、まじめがおもしろい～」がオープンした。今までの学習院大学の真面目なイメージに加え、大学の活発な面を発信していく。ホームページには、カラフルで視認性が高いデザインとしてキャッチーなコンテンツ名称を並べて見易くした。これは、閲覧者が欲しい情報に早くたどり着くことを狙いとしている。また、目白駅からの距離を測る動画や、模擬講義内容を紹介する動画などを制作してコンテンツを馴染み易くした。その効果があってか、閲覧数は伸びているという。本ホームページのターゲットは受験生であり、馴染み易い動画などを通して本学のことをよく知ってもらうことが目的である。オープンキャンパスなどの直接的な広報と併せて、ホームページの内容充実を図り、今後も本学の魅力を効果的に発信してくれるだろう。（瑠）

明窓浄机

「無為に過ごすからこそ珠玉の時間となる時もある」。世界中で愛されている童話『ピーター・パン』の著者ジェームス・マシュー・バリーが残した名言である。貴重な時間を大切に過ごすように注意された時に思ったことだそうだ▼原作では、バリーの人間像や自身の心中を描いていることはあまり知られていない。家計のやりくりに苦労した父と教育熱心な母を持っている点は主人公・ウェンディと共通している。また気まぐれな性格であった彼は、自身の理想の人間像を作中に導入したともいわれている。ウェンディの母メアリーの姿はバリーの母に対する敬意の現れだろうか▼作中にはこのような台詞がある。「おとぎ話を信じる、絶対に、絶対に」。バリーは夢を叶えるために、いかなる犠牲も厭わなかった。前述の名言を残し、非現実にまで夢を追い求めた点がなんとも彼らしい。貧しい出身で、文筆家として大成するのに多くの時間を擁した彼だからこそ書けたのだろう。執念が生み出した台詞に思える▼誰よりも失敗を重ねてきた私は、その数に見合うような成功は収めていない。だからこそ、どんな犠牲をも払ってきた彼の執念に学び、生きていたい。その思いが人生の糧になると信じて。（風）

【訂正】前号1面「福井先生講演会」の記事中において、学習院生涯学習センター主催との表記がされていなかったため、お詫びして訂正します。

学習院研究最前線
学問研究の「いま」

「国際経済学で人間関係を改善」
経済学部経済学科　椋　寛　教授

PROFILE
横浜国立大学経済学部経済学科卒業。東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学後、博士（経済学・東京大学）取得。その後日本学術振興会特別研究員（PD）を経て2003年より本学に赴任。

（取材・構成　鈴木　花帆）

◇　◇　◇

先生は、国際貿易や海外直接投資を専門としている。そこで、研究などについてくわしく伺った。

世界経済を見据える

専門とする国際貿易の分野では、国境を超えたモノの取引が起こるメカニズムや、貿易に関連する取引の中のサービスの動きを研究している。最近では、『グローバル・バリューチェーン』、つまりは国際的な付加価値の連鎖やTPP等の貿易協定に着目し、政府の政策効果の分析を行っているという。

教育者として

学生時代は、官公庁などで政策立案に携わり、世の中を良くする仕事がしたいと考えていたという椋先生。では、教員になるきっかけとは一体何だったのか。

相互協力の重要性

「もともと学問に興味はあり、大学院に進み専門知識を身につけようと考えていましたが、学者になるつもりは全くありませんでした。しかし、大学院進学後に、経済学の奥深さに惹かれ、のめり込んでいきました。経済学の専門知識を持つ研究者として、教育現場や論文を通じ、その有用性や成果を広く発信する。それも世の中を良くするため重要な手段である、と思うようになったのがきっかけです」と話してくれた。

身近な経済学

また、研究を長く続けている国際経済学に惹かれる理由を伺った。

「国際貿易というと、どこか縁遠いものだと思われがちですが、食料品やエネルギー資源、スマホなどの輸入品は生活に密着しており、その分析は私たちの生活を考えることでもあります。さらに、国際経済問題を解決しようとする取り組みは、互いの違いを理解し尊重し合うことに繋がり、周りの人々と良好な関係を築くきっかけにもなるのです」と意外な共通点を教えてくれた。

「それを典型的に表すのが、『比較優位』の考え方です。仮に全ての面で他者よりも絶対的に劣っていたとしても、適切に役割分担をすることにより、全ての人の状態を現状より改善することができるというのが、比較優位の教えです。世の中に不必要な人はおらず、互いに協力し合うということの大切さを同時に学ぶことができる。それが、国際経済学の最大の魅力だと思います」と熱く語った。

約一時間にわたり、自身の研究や教育に対する思いをたっぷりと語ってくれた椋先生。自身の信念を強く持ち、今後もさらなる探求心のもと、その知と教えを発信し続けてくれるに違いない。

情報特急便

平成28年度秋季特別展「君恋ふるこころ―恋におちる日本美術」展
日時：10月1日（土）～12月10日（土）
月～土曜　10時～17時
場所：北2号館1階　学習院大学史料館展示室
備考：入場無料／閉室日あり／ギャラリートーク開催（①10月29日（土）②11月19日（土）14時～各回30分程度／予約不要・参加無料）

第81回学習院大学史料館講座「王朝物語と絵画」
日時：10月8日（土）14時～15時30分
場所：学習院大学創立百周年記念会館
講師：佐野みどり氏

徳川家最古参の家来　三河安祥譜代大名　阿部家　知ると面白い江戸時代の歴史
日時：10月29日（土）13時30分～15時
場所：西5号館202教室
講師：阿部正靖氏（棚倉藩　阿部家二十二代当主）
備考：受講料1500円／定員320名

紙面紹介

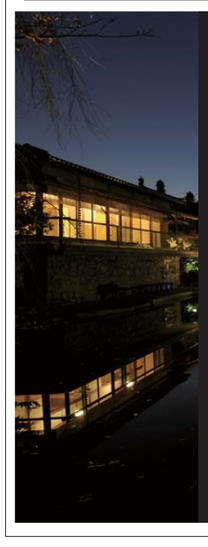
2 熱気帯びる大会 次は東京へ

3 日本の独自文化 妖怪世界に迫る

4 防大に勝利
リーグ1部昇格を目指すホッケー部。防衛大学との一戦は試合終盤に得点し、そのリードを守り1対0の僅差で勝利した。

成文堂
学習院店
03（3981）9718
〒171－0031

学習院大学新聞社
大新
@gakushuinpress
一緒に新聞を作りませんか？
新入部員随時募集中！
気軽に follow me!



目白庭園
秋の紅葉ライトアップ

イベント

11/25（金）19:00~20:00
箏・尺八コンサート
箏と尺八の演奏会
出演：尺八 / 平野透山、箏 / 雅楽鈴

12/1（木）19:00~20:00
チェロと癒しの調べ
チェロとクレセントによる癒しのコンサート
出演：チェロ / 河村治
ピアノ・ギター /Crescent（クレセント）

12/4（日）18:30~19:30
シャンソンコンサート
夜の一時をゆっくり、
シャンソンでお楽しみ下さい
出演：内藤　依子

11/26（金）18:30~19:30
雅楽コンサート
雅な笙の響きの世界を
紅葉とともにお楽しみください
出演：大塚 惇平

12/3（土）18:30~19:30
魅惑のインド舞踊
ライトアップされた日本庭園と
魅惑のインド舞踊で、幻想的な夜に誘います。
出演：マチコ・ラクシュミー

お申し込み・お問い合わせ
目白庭園　管理事務所
住所：〒171-0031 豊島区目白 3-20-18
TEL：03-599-4810　FAX：5996-4886
MAIL：info-mejiro-garden@seibu-la.co.jp
ホームページ：
http://www.seibu-la.co.jp/mejiro-garden/

目白庭園
〒171-0031
豊島区目白 3-20-18
JR 山手線目白駅徒歩 5 分
池袋駅徒歩 15 分
目白駅の改札を出て左
横断歩道を渡って、さらに左に進むと
パン屋が見えてくるので手前を右に曲がる。
まっすぐ、道なりに歩いて行くと
踏切の手前に、目白庭園の門が見える。

イベントはいずれも 参加費：1000 円（ライトアップ入園料含む）場所：赤鳥庵（目白庭園内）定員：60 名（先着順）対象：どなたでも
申込：往復はがき又はファクスかメールに①イベント名　②住所　③氏名　④年齢　⑤電話・ファクス番号、を記入の上、申込下さい。
目白庭園管理事務所で直接申し込みも可。＊電話での申し込みはできません。

パラリンピックに迫る！

パラ五輪の起源に迫る

オリンピックの閉幕後に開催されるのがパラリンピックだ。障がい者への理解を含めて、パラリンピックを検証してみよう。

パラリンピックを知らない学生は、おそらくいないだろう。しかし、その歴史的経緯を熟知している学生は少ないと思われる。本記事ではパラリンピックの歴史とその意義について簡単に解説していく。同大会はオリンピック後に行われる「平行の＝もう一つの（Parallel）」＋「オリンピック（Olympic）」だ。主に肢体不自由の身体障がい者を対象とした競技大会で、世界最高峰の大会だ。歴史は古代ギリシャに起源をもつオリンピックに比べまだ浅く、原点は第二次世界大戦中に求められる。当時の英国首相チャーチルは、ロンドン郊外にあった病院内に脊髄損傷科を開設した。戦争激化による負傷兵急増を見越して、兵士の治療と社会復帰を目的とした施設が必要だったのである。初代科長にはユダヤ人排斥運動によりイギリスに亡命した医師、ルードウィッヒ・グットマン卿が任命された。グットマン卿は「手術よりスポーツを」という理念からスポーツを治療に導入。1948年、卿はロンドン五輪にあわせて病院内で車椅子患者（退役軍人）によるアーチェリー大会を開催。この大会は毎年開催され、後のパラリンピックの直接の原点となった。1952年にはオランダの参加で国際大会に発展し、規模を拡大。1960年、イギリスをはじめとする5か国により国際ストーク・マンデビル大会委員会が設立。グットマン卿がその初代会長に就任した。そして同年、オリンピックが開催されたローマで、国際ストーク・マンデビル競技大会が開催された。この大会は現在、第1回パラリンピックと呼ばれている。東京五輪後には車いす使用者だけでなく、全ての身体障がい者が参加する国際身体障がい者スポーツ大会が開催。この大会は第2回パラリンピックと位置付けられている。その後、大会はリハビリ（社会復帰）の延長から競技性の高いスポーツ大会へと発展。2000年にはオリンピック開催国は、引き続いてパラリンピックを開催しなければならないとの規則が明文化。今日の形態となった。

原点は傷痍軍人治療の一環としてスポーツが奨励されたことだった。現在でも米国代表の約2割は傷痍軍人である。日本では福祉の観点から語られることが多いが、別の視点からはまた違った意義が見出されるのである。

（石川雅広）

1944年	英国のチャーチル首相が 脊髄損傷科を開設。初代科長にグッドマン卿が就任。
48	ロンドン五輪にあわせて、車いす患者によるアーチェリー大会を開催。
60	ローマで第 1 回夏季大会が開催。
64	東京で第 2 回大会。パラリンピックの名称が初めて使用される。
89	国際パラリンピック委員会 （ IPC）が発足。
2000	五輪開催国によるパラリンピック開催が明文化。

多大な負担 支援強化を

オリンピックに比べ人々の関心の低いとされるパラリンピック。近年は少しずつ注目度も高まっているものの、課題が山積しているのが現状だ。その根底にあるのは、障がい者スポーツ自身の問題である。

まず、サポート体制が整っていないことだ。中でも経済的負担が大きいことが問題視されている。日本パラリンピアンズ協会の調査によると、障害のある選手一人あたりの年間自己負担額は平均147万円ほど（推計値）。さらに冬季スポーツの一人あたりの年間自己負担額は約250万円とさらに高額になる。大会参加のための遠征費用や器機・道具類が主な内訳だという。

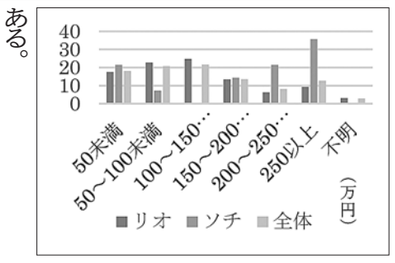
加えて施設や指導者の不足も深刻な問題だ。調査では選手の20％が施設利用を断られた経験及び条件付きで認められた経験があると回答している。その理由として最も多いのは特に車椅子スポーツ選手からの「キズがつくから」という回答だった。スポーツ施設のバリアフリー化の促進や指導者の養成、さらにそれらを全国にバランスよく配置することが求められている。

選手たちを悩ませるのは資金や設備の不足だけではない。選手生活終了後のセカンドキャリアのサポート体制もまた、充実していない。活躍が期待される選手の生活基盤を安定させ、競技に全力で打ち込める環境を作ることも求められているのではないだろうか。

パラリンピックでは、同じレベルの選手同士で競いあえるようにするために、障害の種類や程度によってクラス分けが行われている。そのためどうしてもメダルの数が多くなる傾向にあり、メダル一つ当たりの重みに疑問を持つ人もいるのが現状だ。近い障害クラスの間で階級を統廃合する動きも出た。一方で公平性を重視するべきだとの意見も多い。どちらを重要視すべきか今一度考える必要がある。

近年、パラリンピックの競技もオリンピックに組み込むべきだという声が上がっている。これは世界がすべての人がスポーツを楽しめる方向へ動いている証拠なのではないだろうか。この動きを失速させることのないよう、問題の早急な解決や人々の偏見を取り除くことが今、求められている。

（國井日南子）



パラスポーツを社会に

日本財団パラリンピックサポートセンターをご存じだろうか。溜池山王駅から徒歩5分、日本財団ビルが現れる。その4階にあるのが本同センターだ。ここでは、パラリンピックをはじめとする障がい者スポーツ（通称：パラスポーツ）の普及に携わる活動を行っている。今回は、本同センターの金子知史さんと前田有香さんにお話を伺った。

最初に、本同センターの概要を説明して頂いた。4年後の東京パラリンピックの成功と障がい者スポーツの振興を目的に、昨年5月、公益財団法人日本財団の支援により設立。金子さんによると、「パラリンピック競技団体の組織力の強化と、障がい者スポーツの普及・啓発を二つの柱としている」そうだ。そのため、各競技団体に対する助成金の提供や、共同オフィスの設置などを通じて、団体基盤の強化が図られている。

また、webサイト等の媒体のほか、実際に競技体験をするイベント等を実施。パラスポーツの知名度の向上や、パラスポーツを通じて障がい者理解を推進している。「インクルーシブな社会を形成するために、さまざまなプログラムを実行し、障がい者が社会の一員であるという認識を持ってもらいたいのです」とのことだ。

続いて、障がい者スポーツが社会にもたらす影響について聞いてみた。「ルールを少し工夫するだけで同じ競技をプレーすることができます。パラリンピックはそのような見方を多くの方に提供できる。それによって、障がい者が普通にいられる社会を当たり前にしたいです」と前田さんは語ってくれた。

最後に、大学生に向けてメッセージを頂いた。「2020年東京パラリンピックをきっかけに、ボランティア活動など社会を変える行動を起こしてほしい。これは障がい者スポーツに限らずどんな活動でもいいと思う」と金子さん。前田さんは「やろうと思えば何でもできるということをアスリートは示してくれる。だから、まず競技を観てほしい。そこから自分ができることに一生懸命になってほしいです」と話してくれた。

数日前、とある芸能人と日本代表選手との対談番組が放送された。お互いに遠慮なく意見をぶつけていた。障がい者へのまなざしだけが同情だけではないということをアピールするきっかけとなってほしいと思う。

（安井大河）

歓声の瞬間

フィギュアスケートの羽生結弦選手やスキージャンプの葛西紀明選手の活躍で、日本中が沸いたソチオリンピック。その後に行われたパラリンピックにおいて、感動の金メダルを獲得した1人の男がいた。

彼の名は、鈴木猛史。福島県出身のチェアスキーヤーだ。小学2年生の時、友人の家に行く途中ダンプカーにひかれ、両足太ももから下を切断する大怪我を負った。小学3年生でチェアスキーを始め、練習を重ね数々のレースに出場。両親の支えもあり、めきめきと頭角を現した。

高校時代、アルペンスキーの回転競技で初出場したトリノ大会から8年。W杯で何度も優勝経験がありながらも、パラリンピックの舞台での金メダル獲得には至らなかった。ソチでの試合、1本目はトップの選手と僅差で2位。勝敗が決まる2本目、彼は攻めの姿勢を貫き、見事逆転勝利を勝ち取った。悲願の金メダルを獲得した3月13日は、17年前両足を失ったまさにその日だった。長い夢を実現させ、最大の悪夢の日が最高の日に変わった瞬間だっただろう。

（鈴木麻衣子）

記者の眼

捨ててはならぬもの

特定の分野で成功を収めた人々はこのように語ることがある。「自分から動き出さなければ、何も始まらない」。確かに、人との出会いや新たな発見のためには自分から行動を起こすことが不可欠だ。しかし、彼らはそれだけで成功を収めていると言い切れるだろうか。

人生を色鮮やかに

文系不要論が唱えられて久しい。「文系の学問より、特定の技術を習得する方が実社会で役に立つことが多いから」だそうだ。歴史や文学はITやプログラミングには必要ないということだろうか。

これとは別に、インターネットでの情報取得の利便性は向上している。我々の身の周りはあらゆる情報で溢れ返っている。電子メディアの情報は要点のみに絞られ、知りたいことだけを知れるという点で便利だ。

だが、これらは何かを放棄しているといえる。それは、教養だ。教養とは一見無駄に思えるが、人生を色鮮やかにしてくれる物事である。言語に置き換えるならこうだ。本や辞書などで得られる情報は余分なものも多く読み飛ばしたいと思ってしまうこともある。しかし、熟読してみると、言葉の意味以外にも成立過程などが記されている。例えば、reflectという単語がそうだ。これは、「もとの方向へ」を意味するreという接頭辞と「曲げる」という意味のflectがくっついてできた単語である。そこから、「光を反射する」や「反省する」という意味になった。こうして知識を得ていくことで、一見単調な語学の世界は鮮やかな色で染まっていき、記憶の中に刻まれていくのだ。

言語だけではではない。歴史や文化に傾倒したIT分野の実業家も数多い。ビル・ゲイツは中国の兵法書「孫子」を愛読。ここに書かれている戦闘の記録を自身の立場に当てはめて、経営に応用しているそうだ。一方、スティーブ・ジョブズは禅の哲学を学び、自らの短気な性格を落ち着け、冷静に状況を見渡そうとした。

モノクロの世界や無縁に見える分野においてでも、力を発揮する教養。「すぐには役に立たない」は「一生役に立つから、今はそう見える」だけではないか。一歩踏み出す勇気と同様に我々が常に持つべきだ。

（政治学科一年　安井大河）

国際識字デー

当たり前の幸せを

7億7500万。皆さんはこの数字が何を表すか、ご存じだろうか。世界人口の約6分の1を表すこの数字は、十分な教育を受けられず最低限の読み書きすら出来ない人の数を表す。日本で暮らし、大学に通う私たちにとっては受け入れ難い事実かもしれない。

個人とコミュニティ、社会にとって読み書きの重要性を強調するため、「国際識字デー」は定められている。きっかけは1965年9月8日、イランで開催されたテヘラン会議において、当時のパーレビー国王が各国軍事費の1部を識字教育にまわすように提案したことだ。その後、UNESCOがこれを祝し記念日の制定を宣言し、1966年に初めての「国際識字デー」を迎えた。この日は世界中で、ワークショップや国際交流などのイベントが開催される。またNGOによる講演会も開かれる。これらの趣旨は、身に付けた識字能力を通して理解することができる幸せや、文字を認識する力や大切さを改めて感じることだ。

世界では未だ、十分な識字スキルを備えていない人が多く存在する。今月は是非、当たり前にしている読み書きについて考え、その幸せを改めて実感してみてはいかがだろう。

（鈴木麻衣子）

取材を終えて

リオパラリンピック開幕2日前の時点でチケット販売率は6割程度にとどまっていたという。それは用意されている250万枚のうち100万枚が売れ残っていることになる。このようにオリンピックに比べ依然集客などの点が課題である。それらによって会場やスタッフのコストを賄いきれず削減しなければならないなどの悪循環が生じるのである。

パラリンピックという名前で開催されたのは50年前の東京が初めてであった。

そんな東京で2020年パラリンピックはどのような展開、例えば都内のバリアフリー化はどれほど進むのか、など非常に楽しみである。

（福田健太）

企画　安井大河
構成　福田健太
レイアウト　國井日南子
取材　石川雅広
鈴木麻衣子

学習院大学新聞社
レイメイ 316

大江戸線：練馬春日町駅徒歩 7 分
＃学生のうちに免許をとろう！
●段階別一括技能予約ＯＫ！
●技能＆検定オーバー分追加無料！
☆普通車☆二輪車キャンペーン特典付!!
☆お申込みは断然お得な蓁々会売店でお申し込み下さい。
パック料金だからオーバーした場合でも安心！
◇無料送迎バス◇　-充実の5路線-
●池袋駅/千川駅/要町駅/小竹向原駅/氷川台駅/平和台駅方面
●常盤台駅/上板橋駅/東武練馬駅/下赤塚駅/成増駅方面
●沼袋駅/野方駅/都立家政駅/鷺宮駅/下井草駅/井荻駅方面
●中野駅/新井薬師駅/東長崎駅/江古田駅/桜台駅/練馬駅/豊島園方面
●早稲田駅/西早稲田駅/高田馬場駅/下落合駅/落合南長崎駅/新江古田駅方面
※東京都公安委員会指定　実地試験免除
北豊島園自動車学校
http://www.kitatoshimaen.co.jp
東京都練馬区春日町4-37-24　03-3990-1176

いざ妖怪の世界へ

太古から人のそばに

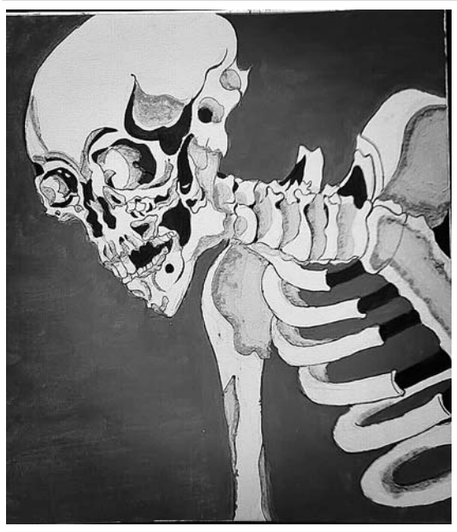
最近、再び注目されるようになった妖怪。しかし世の中には似たような言葉が多く存在する。お化けや幽霊などとの違いや歴史について詳しく紹介していこう。

そもそも妖怪とは何だろうか。それは人の理解を超えた不思議な現象や災厄を引き起こす不可思議な力を持つ存在のことを言う。鬼や河童、天狗など必ずしも人の霊や動物といった何かが変化したものではない。そこがお化けや幽霊と大きく違う点だ。幽霊とは、この世に恨みや未練があって成仏できない死者が因縁のある人や場所で姿を現すとされる。そしてお化けとは、本来ある姿から大きく変化したもののことである。タヌキやキツネといった動物や物を粗末に使い捨てることによって後で他のものに化けて恐怖感を与えるものをいう。つまり幽霊は人が、お化けは人以外のものが変化したものである。また妖怪は人に害を与えるといった負の要素ばかりではない。家にいるとその家は栄えるといった人に幸福をもたらす「座敷わらし」がいる。そして今では仕組みが解明されているやまびこもその昔は「やまびこ」という妖怪が起こした現象だと考えられていた。このようにかわいらしいものが多く存在するのも特徴であり、今の時代にまた脚光を浴びるようなった理由かもしれない。

それでは妖怪の起源というものはいったいどこにあるのだろうか。日本古来のものと思われがちであるが中国と深く関係があると言われている。昔から多くのものや文化が中国から入ってきた。それらと同様に妖怪も日本にやってきたとされている。そこから日本特有のアニミズムや八百万の神の思想と相まって広く知られるようになった。日本生まれではないものの中国とは違う日本独特の進化を遂げていく。古事記や日本書紀といった太古の歴史書には鬼などの怪奇現象についての記述が存在した。しかし妖怪という言葉が出てきたのは奈良時代の書物であるとされている。それから江戸時代になり絵巻物が数多く描かれた。そして明治時代には研究をする学者が登場してますます広まっていった。今も漫画やアニメを通じて多くの人に親しまれている。

昔は何か妙なことが起これば何でも妖怪のせいにしていた。私たちの身の回りに起きる不可思議な現象も、もしかすれば彼らたちが関わっているかもしれない。

（多田愉梨）



今、再びブームに火がついた妖怪。しかし妖怪とは何か詳しくわかる人は少ないだろう。その魅力を今回徹底解剖していきたい。

「妖怪」ってなに？

江戸時代まで、日本人にとっての妖怪とは、妖しく怪しいものだという程度の認識だけであったようだ。平安時代から妖しく怪しいものが絵に描かれ、人々にイメージされるようになった。江戸時代には鳥山石燕が現代にも伝わる微笑みや奇妙さを誘う妖怪の絵を多く書き、後の時代に多大な影響を与えた。大正時代に妖怪を題材とした漫画の第一人者となったのが水木しげるだ。40代で「ゲゲゲの鬼太郎」のもととなる「墓場の鬼太郎」という作品が登場し、一躍人気作へ。今では数多くの妖怪のキャラクターが作られている。このように注目されている妖怪を、いくつか紹介したい。

はじめに紹介したい、妖怪は「妖怪ウォッチ」のメインキャラクターである「ジバニャン」の出どころでもある地縛霊だ。「ジバニャン」は、車にひかれた飼い猫の地縛霊だという。この妖怪は、現世への執着心や怨念などが凝り固まっていることで生まれるらしい。このため、その思いを自分で解き放せなければその状況から抜け出せないという。

二つ目に、「送りいぬ」というあまり聞き覚えがないであろう面白い妖怪を紹介する。夜中に山道を歩いているとき、後ろから犬が付いてきたらそれは「送りいぬ」かもしれない。もし木の根に足をとられたりして転んでしまうと、瞬く間に食い殺されてしまうらしい。転んでも、「どっこいしょ」と休憩をとるように見せかければ襲いかかってこないという。夜間山間を散歩する際には気を付けた方がいいかもしれない。

三つ目に紹介するのは「はなかっぱ」や、かっぱ寿司の「カー君、パー子ちゃん」など、みんなから愛される河童だ。川に落ちたら引きずり込まれたり、相撲で負けると臓器を抜かれると言われる。かっぱの特徴は水死体と似ているという。そのため、水死体が浮かぶ川には近づくなと子供たちに警告するため、妖怪だという言い伝えができたという説が有力だ。

日本の妖怪は海外でも恐ろしいと言われるものが多いが、海外にも空想上の恐ろしい怪物や魔女などがいる。

例えば、「展覧会の絵」に登場する「バーバ・ヤーガ」。これは痩せこけていて足は骨だけで皮はなく、子供をさらい食べるという。

このように、世界にも恐ろしい伝承がたくさんある。妖怪のキャラクターを見つけた時は、どの妖怪が元となっているのかに注目するのも面白いのではないだろうか。

（住吉華乃）

妖怪学の祖

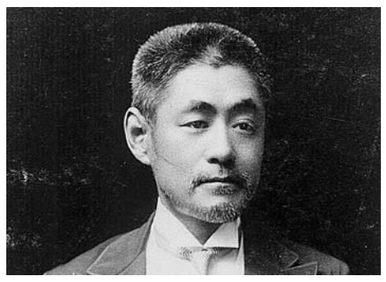
文明開化を謳い、近代化が進んだ明治。人々は未だ迷信や妖怪を信じ、こっくりさんが社会現象になっていた。これを解明するため立ち上がった人物が井上円了である。

彼は東京大学を卒業後、哲学を広めるために哲学館（現・東洋大学）を設立。哲学が近代化にとって重要であるとその教育に力を注いだ。

彼は哲学者という肩書の他に妖怪博士という異名を持つ。円了は心理学を活用してこっくりさんを研究し、それが妖怪学の基礎となった。

円了の妖怪学は前近代的な迷信の類を否定するものである。彼は妖怪を実怪と虚怪に分け、さらに実怪の中の真怪を未だ解明されていない妖怪として定義した。彼は明治のゴーストバスターと呼ばれているが、1道1府48県215箇所に及ぶ調査を行い、不思議現象を調べたのだ。この並々ならぬ探求心は彼が妖怪を愛し、科学的な視点から真の妖怪を探そうとしたのではないかと思えてならない。

（齋藤真優子）



「妖怪博士」になろう

日本に古くから存在する妖怪文化。西洋の怪物や宇宙人の類とは異なる日本独自の文化だ。日本人なら誰しも妖怪の名前を少なからず知っているだろう。

そのような妖怪に関する知識を活かして取得できる検定があるのをご存じだろうか。それが境港妖怪検定である。この検定を主催している境港市観光協会の古橋剛さんにお話を伺った。

そもそもこの検定は鳥取県にある境港商工会議所の創立100周年を記念する事業として始まった。この境港市は漫画家水木しげる先生のふるさとである。

試験は初級、中級、上級と分かれている。初級、中級は主催団体である境港商工会議所・境港市観光協会などが作成。上級は妖怪専門誌である『怪』・お化け大学校が小論文のお題の作成と受験生の論文の審査を行っている。最終的に水木プロダクションの監修を受け完成となるのだ。

ではこの検定を取得したことによりどのような事が可能となるのか。古橋さんは「境港妖怪検定は資格試験ですので、合格した場合は履歴書に記載できます。境港市内での就職を希望される方は有利になる・・・かもね」と語ってくれた。他にも就活の際には採用担当者の目を引くこと間違いなしだろう。

毎年数百人が受験する境港妖怪検定。昨年の第10回開催では、4歳の女の子が初級に合格し、最年少記録を更新したとのこと。第11回目となる今回の境港妖怪検定は水木しげる先生が逝去されてから初めての開催となる。「これからも妖怪に関する企画や境港で水揚げされる豊富な水産物に関する企画などを実施したい」と語ってくれた。

境港市だけでなく東京都調布市でも開催している境港妖怪検定。空前の妖怪ブームである今、皆さんも受験してみることをお勧めする。日本の文化や風土を再認識できる絶好の機会となるはずだ。

（野口英嗣）

企画　多田　愉梨
構成　レイアウト　福田　健太
取材　住吉　華乃
野口　英嗣
齋藤真優子

知りたいっ！行列店の味

高田馬場に愛される名店
特製上海焼きそば

鉄腕アトムのメロディを聞きながら、高田馬場の改札を出て、早稲田通りを左手に歩くこと約5分。手塚治虫先生ゆかりの地である高田馬場西商店街の一角に中華料理屋・一番飯店がある。ここでは先生本人が考案した特製上海焼きそば（1420円）を食べることができる。

このメニューは高田馬場にある手塚プロダクションに現・店長である山本さんが出前に行った時、栄養の摂れる焼きそばをリクエストされて生まれたのだという。大きなお皿に乗せられたボリュームたっぷりな、あんかけ焼きそばは具だくさんで麺が見えない。

あんの具材は、キクラゲ、シイタケ、フクロタケ、大小2種類のエビ、イカ、アサリ、鶏肉、青梗菜が入っている。麺は細めで片面を中華鍋でつけた焦げ目の食感とモチモチした食感のバランスが良く、あんとの相性は抜群だ。きのこ類や魚介類などの旨味が満ちており、おこげの香ばしさが鼻孔をくすぐる。

人気メニューの1つである、トマトタンメン（860円）もいただいた。

山形県鶴岡市の契約農家の方から仕入れたトマトがふんだんに使われている。トマトを出汁にしたスープは深みのある味なのだが、後味がさっぱりとしている。また、ゴロゴロと入った果肉がみずみずしく口の中で弾け、丸かじりしているような錯覚さえ起こしてしまう。あっさりとしているので女性でもすんなりと完食できるだろう。一番飯店は多忙で開いていない場合もあるとのこと。来店時は電話を入れて確認をするのがおすすめである。

手塚治虫先生のことを振り返る山本さんは昔を懐かしむような、それでいて少年のような笑顔だった。また、「おいしいの一言が聞けるだけでこの仕事を続けていける」と話をしてくれた。山本さんと話をすると、よりこのお店の魅力が増す。だんだんと肌寒くなるこの時期、味にも人柄にもほっこりとする、そんなお店、一番飯店に訪れてみてはいかがだろうか。

（齋藤真優子）

定休日…水曜日
営業時間…11時半～16時
17時～23時半

『ジェイソン・ボーン』
白熱のアクション映画

MOVIE

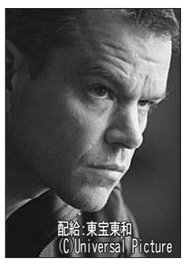
読者の皆様はロバート・ラドラムの小説を元に映画化された「ボーンシリーズ」をご覧になったことはあるだろうか。2003年に公開されたシリーズ第1作目の「ボーン・アイデンティティ」は革命的で斬新なアクション映画であった。日本において2002年公開の「ハリー・ポッターと秘密の部屋」を抑えて興行成績は2週間連続で1位をとった。その後2004年には第2作目の「ボーン・スプレマシー」が公開。そして第3作目「ボーン・アルティメイタム」第4作目「ボーン・レガシー」と続く。第5作目にあたる今作「ジェイソン・ボーン」は9年ぶりの新作とあって注目が集まる。

これまでの作品では、マット・デイモン演じる記憶を失くした男、ジェイソン・ボーン。彼は自分が何者で、一体自分の身に何が起きたのかという部分に焦点を当てている。その中で本当の自分を思い出すのだが、今作で彼はまた戻ってくる。はたしてその目的は、まだ隠された真実があるのか。

主人公演じるマット・デイモンの迫真の演技を、ロンドンやラスベガスなど世界中を舞台に迫力あるアクションが繰り広げられる。監督はポール・グリーングラスと豪華なスタッフ、キャストが集結している今作をぜひ劇場にて。

（柚）

（ジェイソン・ボーン　10月7日公開）



貸しテニスコート
一時間　学生サークル 3000円（税別）
新大久保駅徒歩6分
大久保駅徒歩3分
トマステニス
〒169－0073
新宿区百人町2－23－27
TEL3362－2271

Gakushuin Sports

ロッカールーム
本紙・関沢が辿る本学アスリートの軌跡

ボウリング部 加藤 聖基 選手（政2）

一投に思い込めて

誰もが簡単に楽しめるスポーツとして人気のあるボウリング。今回は、主将として部をまとめる加藤聖基さん（政2）にお話を伺った。

中高と文科系のクラブに所属していた加藤さん。大学で一から始められるスポーツをやりたいという希望から経験者の少ないボウリング部に入部する。入部後、週2回の部での練習と自主練習の努力が実を結び、平均で170点を出せるようになった。用具については、15ポンドのマイボールを使用し、レーンの素材やオイルの量で使い分けているそうだ。競技の難しさついて尋ねると、「レーンによってコンディションは異なります。そのため、それを正確に読んで投球しなければいけないところです」と語る。さらに、「大学で共通の趣味を持つ仲間と打ち込めるものを見つけることができましたね」と部活について明るく話した。

秋からの試合では個人でアベレージ200、部としては新人リーグでの入賞を目標に掲げる加藤さん。そのための課題として「リーグを勝ち抜くには選手層を厚くする必要があります。そのためにも、もしストライクをとれなくても焦らずにスペアで粘り、スコアを上げたいです」と今後について熱く語った。

ボウリングへの飽くなき向上心でリーグ1部昇格を目指す加藤さんの今後に注目である。（関沢裕一朗）

試合終盤に決勝点
昇格に向け1点差で発進!!
ホッケー部

積極的に攻め込む奥原選手（撮影・関沢裕一朗）

雨天が危ぶまれる中、明治大学八幡山グラウンドにて、関東学生ホッケー春季リーグが行われ、本学対防衛大学の試合が行われた。前半は両者一歩も譲らず均衡状態が続く。しかし、後半にて本学が得点を決め、その後も粘り強く走り続け1対0で見事に勝利を納めた。

雪辱を果たすために

関東学生ホッケー春季リーグが9月11日に明治大学八幡山グラウンドにて行われた。昨年には2部リーグに降格し、3、4年生も7人しかいないという状況。そういった中で多くの新入生を迎え、新たにチームを作り上げていこうと過酷な夏合宿や練習を乗り越えてきた。リーグの初戦であるこの試合でその成果をどのくらい発揮できるのか。試合前にチームの主力である鈴木翔太選手（法3）は「自分たちから走るホッケーを目指しています。走って得点を取っていきたいです」と気合十分に話してくれた。

番号	ポジション	名前	学年
1	GK	樫尾	3
2	FW	奥原	3
3	MF	鈴木	3
4	MF	大膳	3
5	MF	矢作	1
6	MF	柏原	1
7	FW	山口	2
8	FW	小宅	1
9	FW	仲野	1
10	MF	京谷	3
11	FB	酒井	4
13	FB	荒居	2
14	FB	池田	4
15	FW	中村	1
16	FW	池ヶ谷	1
17	FW	伏野	1
20	FW	伏野	1
21	GK	宮崎	1

両者譲らず

曇り空の中、いよいよ試合が始まった。両者は一歩も譲ろうとせずグラウンド内を走り回る。山口星矢選手（政2）が多彩なテクニックで攻めるが、ブロックされる。前半16分では防衛大学側のペナルティコーナーが発生するも、見事ブロックに成功する。グラウンドを広く使い攻めようとする選手たちの背中を押すように天気は快晴となっていった。前半19分に攻め込み、ペナルティコーナーに持ち込むが阻まれてしまった。得点こそ奪えなかったが、堅い守備と粘り強い攻撃で自分たちの時間を活かす姿が見られた前半戦が終了する。

大きな一歩

後半5分、奥原健登選手（済3）が攻めるが、相手の硬いブロックに阻まれてしまう。一進一退をする中、後半20分のペナルティコーナーでついに均衡が破れる。LW（レフトウィング）の矢作直也選手（営1）がリバウンドを押し込み、ついに先制点が決まる。得点を決め、勢いに乗った本学は積極的にゴールを決めようとするも、中々ゴールは決まらず。残り1分のピンチではFB（フルバック）の柏原心選手（政1）が決死の守備で無失点に抑え試合は終了した。得点を決めた矢作選手は「またフォワードとして点を取って貢献していきたいです」と語ってくれた。また、キャプテンである池田周平選手（政4）は「春は1勝が難しく中々勝利につながりませんでした。でもチーム一丸となって勝利を目指した結果、初戦から勝利を収められたというのは非常に良かったと思います。今後のリーグ戦も勝ち切って確実に2部優勝、そして1部昇格を果たしたいと思います」と前を見据えていた。今日の勝利で1部復帰に向けて大きな一歩を歩み出した試合になった。（岡野玲於奈）

相手を出し抜く大膳選手（撮影・多田愉梨）

強豪相手に善戦
柔道部

果敢に技を仕掛ける工藤主将（撮影・野口英嗣）

四大戦を見据えて

9月4日、日本武道館で東京学生柔道体重別選手権大会が行われた。本校は個人戦で5選手が出場した。

試合前に工藤敦史主将（日3）は、「本日は一部リーグの大学と当たる選手が多いです。強い相手にとにかく力を出し切って今日の結果を四大戦に繋げたいです」と強く意気込んだ。

厳しい結果に

本校は苦戦を強いられる。60キログラム級に出場した清水佑次選手（営3）は序盤から攻め込まれ試合開始1分後背負い投げで一本負け。66キログラム級に出場した高瀬尚一郎選手（政3）は粘りを見せるも相手の巧みな技に屈した。徳山洋輔選手（政2）も序盤こそ積極的に技を仕掛けるが決めきれず一本負けを喫した。

73キログラム級に出場したのは久保田龍選手（物2）と工藤主将。久保田選手は序盤から技を仕掛けられるなど劣勢が続き最後は一本背負いで一本負け。工藤主将は一回戦、試合開始早々に裏投げで一本勝ちした。しかし二回戦では互いに技を仕掛け合い、激しく組み合うなど健闘したが終盤に力尽き、抑え込みで一本負け。本校の戦いは幕を閉じた。

悔しさをバネに

試合後、高瀬選手は「試合内容は良かったです。でも、自分たちの体の弱さや、一部リーグとの差だけでなく二部リーグでも上位と下位の差を感じました。これを四大戦優勝に繋げたいです」と語る。徳山選手は「途中までいい試合ができたが力の差が出てしまいました。それを次に活かしたいです」と話した。工藤主将は「二回戦では途中でポイントを取られ、得意の寝技を狙ったが返されてしまいました。その寝技を活かすためにもっと練習します」と答えた。

下を見てはいられない。力の差を痛感した本大会の結果を受け止めながらも気持ちを切り替え、四大戦優勝に闘志を燃やす。その姿は何処の大学よりも勇ましかった。（佐藤翔太）

編集後記

編集長になって1か月が経とうとしている。仕事には慣れていたつもりではあったが、部のリーダーとして仕事をしてみるとすべてが初めてに感じてしまう。私は文章力にも、編集能力にも特に秀でているわけではない。読者の皆様にはそんな未熟な編集長である私を温かく見守ってほしいものである。

さて、私は歴代の編集長とは違う点が一つある。それは運動部にも所属しているということだ。新聞社でもずっとスポーツ面を担当していて、多くの運動部を取材してきた。運動部では選手としてチームを勝利に導くことが私に求められている役割である。一方で新聞社では私に求められるものは全く別である。部員たちの育成やマネジメントを一番に考えなければいけない。いわば監督としての役割を求められているのだ。全く違うこの2つの仕事を兼任しながらこれから1年間を過ごさなければならない。

新聞も運動もチームがとても重要である。一つの新聞を完成させるためには、団体競技と同じように人と人とのつながりが重要である。一つ一つの記事には現れないこの部分を、読者に伝えられる新聞を作りたいと思う。これが編集長としての私の挑戦だ。（片）

TOPICS

【硬式野球部】
▼9月18日秋季リーグ対大正大戦7対2で敗退
▽10月8・9日秋季リーグ対順大戦本学グラウンドで開催予定
▽10月15・16日秋季リーグ対芝浦工大戦本学グラウンドで開催予定

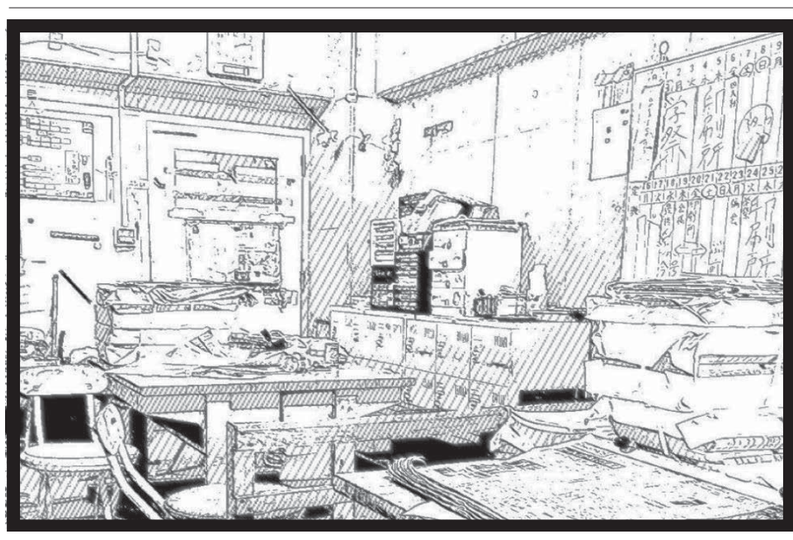
【アメリカンフットボール部】
▽10月9日秋季リーグ対東京工大戦アミノバイタルフィールドで10時45分キックオフ予定
▽10月23日秋季リーグ対成城大戦本学北グラウンドで13時45分キックオフ予定

【サッカー部】
▼9月11日東京都大学サッカーリーグ2部第12節対上智大戦2対5で敗退
▼9月18日リーグ戦第13節対玉川大戦3対1で勝利
▽10月2日リーグ戦第15節対日大生物資源科学部戦本学北グラウンドで10時キックオフ予定

【ラクロス部男子】
▼9月1日リーグ戦第2戦対戦東経大戦16対3で勝利
▼9月10日リーグ戦第3戦対上智大戦13対4で勝利

【ラクロス部女子】
▼9月6日関東学生ラクロスリーグ対上智大戦12対2で勝利
▼9月25日リーグ戦対千葉大戦本学北グラウンドで開催予定

▼は試合結果、城▽は試合予定を表しています



学習院大学新聞社

レイメイ 316

学習院大学史料館　平成28年度秋季特別展

君恋ふるこころ
―恋におちる日本美術―

小野小町図
（内藤司漢島家文書「三十六歌仙絵」上巻より）

2016年10月1日（土）― 12月10日（土）
学習院大学史料館展示室（北2号館1階）
開室　平日・土曜 10：00～17：00　＊入場無料
閉室　日曜・祝日
10月22日（金）・23日（土）、11月3日（木）～7日（月）
主催　学習院大学史料館
共催　一般社団法人霞会館
協力　文学部哲学科・日本語日本文学科

関連企画①　第81回学習院大学史料館講座
2016年10月8日（土）
「王朝物語と絵画」
講師　佐野みどり先生（文学部教授・史料館研究員）
会場　学習院創立百周年記念会館正堂
14：00～15：30（開場13：00）　＊入場無料・申込不要

関連企画②　学芸員によるギャラリートーク
2016年10月29日（土）・11月19日（土）
会場　展示室内　　いずれも14：00から30分程度
＊申込不要・ご希望の方は直接展示室にお越しください